



新板
繪入

霧一法眼虎乃卷

四



八巻
1.660
4



1660
4

三木与



鬼一法眼虎の巻

巻之四

目録

第一 野原小丸のとりぬきお宿の巻

乳母が乳目と谷と利刀の巻

娘のけいと菊の巻

まの心を虎の巻



才二

奥巾の底巻の欠男の恋の菊島
おくちんのおもと むすめのおいこ ぼん しのぶ しま

お落しておとりの起信久乃下書
おちておとりのおのり かねひさのしもづき

手紙の中と送りである借書の泥脚
てがみの中と おくりである かりかきの ぬかた

力の迷熱の痛すこい六波羅に探り
ちからのみよあつめのいたしみ いろはにさがす

才三

今点のゆるぬ封父公の解ぬ判字物
けんてん のゆるぬふうふのいわけぬ せんじぶつ

兄が心を返して見る昔年早氣お才
あやがこころをかへしてみる せねんはやきおさい

打見にいそり悪く心の後ぬお人信状
うちみらいいそりあくこころのあとぬおひとしんじょう

使者の下届の命くはせは昔は家の太紙
しやしのしたげのいのちくはせは せねは けのたいし

① 鐘より尻のとりぬみよるのおまゆり

いそ瑞の門とすの舌はつく鬼の丸が物おととほなげと女
いそ せいのかどとすのしたはつく おにのまるがぶつおととほなげとをんな

ゆよのねと唐巻にぬて討も鬼もよあまをすらん今と
ゆよのねと たらまきにぬて うちも おにもよあまをすらん けんと

拵るむぢがんじこをぬいさると。鬼はくろ鬼を左柳のまがる
むぢがんじこをぬいさると。 おにばくろおにをひだりあしなみのまがる

人の居るといふす。さうさうて。是いつきめて鬼おににおあせよ
ひとのゐるといふす。 さうさうて。 是いつきめて おににおあせよ

とて後見人サと。程まとおうてくしと。首をくわゆるん。又
とて しろみねひとサと。 ほどまとおうてくしと。 首をくわゆるん。 又

母兄身はいしゆらける物をりやりにするものう。いふふ年がいはる
ははあにみみはいしゆらけるぶつをりにするものう。 いふふねがいはる

とて。お程は程や。悪人かをさうい。鬼もあつねと。うんと
とて。 おほどはほどや。 あくじんかをさうい。 おにもあつねと。 うんと

おとて何のや。敵もつては。けだ。まわいぬに合を成す。おに
おとて 何のや。 たいもつては。 けだ。 まわいぬに かなを なる。 おに

は。進みて拵る。柄をさすまをさる。てんくる。飛をいふ。回といふ
は。 すすみて むぢる。 へらをとすまをさる。 てんくる。 とびをいふ。 まわりといふ



とちほろ娘
神のまはより
長文とこと
かしんせ
かふ

こつと娘乃
衣となとろ

産後けり
おき
おそれ
うしろと
えとろ

菊
昌



鬼あてのころし
赤けい
まお合て

鬼二
追り

ひろ
さつ
し
う

はるちか先のまきるまのむいふいふ切たまの守まはる
 のふいふめんがよふかぞんがしるまある中ば服のふいとめ
 おふれるぬるも膝まけま。膝うらの結よま菊たがの
 てふいふまがんよう。膝たごまのまをふかてふいふ
 らもひさしひよふいふおふんふいふてふのふいふ
 こんが敷とつてふてふいふいふいふいふいふいふ
 万。土足と洗へる膝うらもひさしひよふいふてふのふいふ
 りふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
 わらぬ。おふたふらふもふいふいふいふいふいふ
 たふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
 とふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
 中ふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

ちを肉もさつまはあひて泥脚と洗せP洗おれんが。中
 土足と膝おわらせP。中あふりまなまをいふて。こ
 をねの上と中あふりまなまをいふて。中あふりまな
 膝まひと洗へて。まひとつて。まひとつて。まひとつ
 けれとちあふりまなまをいふて。まひとつて。まひと
 ね、信分れたけ用とあふりまなまをいふて。まひと
 ちてぬる。ぬる。ぬる。ぬる。ぬる。ぬる。ぬる。ぬる。
 とふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
 けふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
 おふりまなまをいふて。まひとつて。まひとつて。ま
 袷ひて。まひとつて。まひとつて。まひとつて。まひと
 く。まひとつて。まひとつて。まひとつて。まひとつて。

虎をちち内はさるるにまらちちがむれど二人の御もさうひて。あつひ
 ありあひあがとちちまうてのこまうめれ。鬼一まぐんげ。打多ひ
 まとらんまていひけい。おんおのいひてふんいひまが。そもは服
 が針糸のつ。虎をちちあひ男色の足才の結びとてさうと。あひの
 老をふやと。げらひあや中ぶくしと。和装せぬ振子あられが。あひ
 猪のつと。隆勢に女ま。まねいてよわす。あひあひの因さうら
 ちの振と。海。万二侍業同生さうのあひは女あひでもあひ。すむに二人
 はいさあひて。おまたの命めいせん。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 けが神とさうらんるの分。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 とあひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 とあひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 て。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。

ゆん。虎よりあり。虎をちちまらちちとえれ。何んまさ。あひあひ。
 虎一。鬼一。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 邪情のま。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 死でぞあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 れと。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 るあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 と。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 るあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 虎をちちあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。
 と。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。あひあひ。

色つどりのまに海にまよわきてくといふ今船中の諸君も急ぎに
まねとされしやうき船にたのむは廣ろくおされば。諸君もとゆめは一
門の唐く並のを定め。何りやんと来るはいつうかひのね。諸君を
は後、付れ鬼一もまねとされしやうき。只今揺り余の後にあり
お。まに舟しゆ及わらん。はるみ余の船と何君の西おをまねと。毎
付来の者と五人切伏せな。は切後堂の口は。ひりて。船中
入後のおは目かぬとて。てを候なり。まにうて。西の船か付来の人
絶をこの民屋も。口を困て難ゆ。及び。上も糸に切れて。死する者
の就足才毒子。後款。款とて。みとく。毎船改め。西も。東を。船中
く。それゆ。付れおの申して。武蔵の。と。れ。大。ま。の。勇。者。の。亮。亮。の
力者とするて。お。十人。お。係。毎。お。み。糸。の。船。一。つ。り。お。は。い。て。も。お。中。ま。ま。
わ。は。お。し。お。と。ま。ね。と。つ。り。せ。た。け。い。け。い。ま。り。す。す。と。て。飛。を。う。ん。ど。

の中は。自由の飛り。中し人か。けり。なる。奇。性。の。ら。せ。の。今。に。お。わ。て
ま。は。い。と。海。中。の。諸。船。ま。ら。み。ま。ら。み。の。は。一。門。奇。異。な。る。毎。日。海。を。ま。ら。み。
つ。て。お。の。ち。お。と。ま。り。て。ま。ら。み。の。は。切。後。堂。の。船。中。す。か。れ。者。の。船。と。改。め
ま。す。の。大。地。の。ま。の。は。海。に。お。ま。ら。み。お。し。お。は。い。の。者。を。ま。ら。み。
ま。し。人。を。お。な。い。の。也。と。候。ん。ら。毎。日。お。を。付。來。の。者。と。け。い。に。切。て。ら。る。お。い。
お。れ。は。い。ま。は。劍。術。の。師。範。と。ゆ。な。れ。大。勢。の。舟。子。と。な。て。指。引。す。れ。ば。
我。門。中。の。申。に。は。ら。せ。の。あ。い。な。れ。ら。舟。子。中。と。ま。ら。み。を。お。し。お。は。い。の。
め。は。い。と。一。門。奇。異。な。る。奇。性。の。船。と。我。れ。に。し。て。林。中。に。お。ま。ら。み。の。船。の。ま。を。
お。の。船。中。と。指。引。一。門。の。船。中。を。の。船。と。ま。ら。み。を。お。し。お。は。い。の。
司。と。ま。ら。み。を。お。し。お。は。い。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。舟。子。の。船。中。を。の。船。の。ま。を。
お。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。舟。子。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。舟。子。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。
お。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。舟。子。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。舟。子。の。船。中。と。指。引。す。れ。ば。

お侍を尸ゆりぬれども。ばらみ事をもつしとて。愛はくつゝ。或阿比方のほ
作ぬ。又或阿比方の女。み事。阿比方。いふ。愛化。格の事。あると。福妻の。さる。ぬ
ら。く。して。葉。い。え。む。と。さ。ら。な。れ。ぬ。中。に。我。子。み。た。の。の。り。お。して。師。直
の。ほ。眼。と。さ。ら。の。の。ゆ。り。き。が。し。ほ。の。も。の。神。色。と。ゆ。い。愛。化。の。若。と。お。ぢ。の
ま。り。各。州。細。細。に。事。せ。し。が。の。り。の。方。は。そ。の。返。答。を。ぐ。と。お。る。付。合。と。ゆ。ひ。つ
ろ。い。ひ。い。よ。な。鬼。一。が。家。の。形。威。軍。略。阿。比。方。の。名。を。考。へ。い。は。付。也。と。い。ふ。ら。て
先。は。徳。海。を。令。有。め。案。へ。徹。せ。し。つ。と。そ。の。愛。化。の。正。体。と。い。は。ぬ。も。と。せ
そ。よ。た。て。工。ま。い。め。白。の。女。世。に。お。り。目。の。ま。る。を。わ。り。か。ね。ぬ。秘。術。と。つ。と
今。お。ま。り。い。は。す。と。ま。さ。と。い。は。し。ま。さ。い。今。徳。海。が。方。つ。つ。と。る。口。と。の
越。と。失。念。せ。す。い。ふ。ら。く。や。は。徳。海。の。今。我。め。案。の。格。を。お。ぢ。ぬ。め。と。付
と。あ。て。あ。い。ま。の。て。取。ら。し。の。二。略。の。若。と。お。ぢ。と。せ。ま。よ。の。秘。術。の。格。を。考。へ
と。婦。事。の。つ。つ。と。ら。し。今。い。は。す。と。い。は。し。ま。さ。い。は。徳。海。の。正。体。と。い。ふ。と。せ。ま。い。

ア。お。れ。い。し。は。さ。ら。れ。ぬ。娘。君。の。事。也。記。信。の。ま。つ。い。わ。て。一。お。ぢ。い。は。ぬ
た。は。徳。海。が。あ。い。い。お。ぢ。ぬ。ま。り。お。ぢ。の。お。白。川。よ。あ。い。ま。の。い。は。ぬ。ま。り。
ご。う。じ。て。あ。案。の。格。の。ご。う。じ。あ。い。い。は。ぬ。海。が。と。わ。ぬ。く。一。の。ま。つ。と。た。れ
り。と。お。の。中。に。て。神。へ。い。は。す。く。ら。る。と。お。ぢ。の。神。と。さ。と。お。ぢ。と。り。ま。
虎。義。の。役。と。ゆ。ひ。先。我。我。案。へ。入。て。役。者。の。ま。案。と。さ。ら。け。り。

三 今案のゆゑに對多公の解ぬ判字也

それ。予。よ。の。提。の。中。が。ま。し。ま。つ。く。小。次。他。より。取。り。太。度。の。體。と。さ。ら。る。と。
帝。一。樓。の。つ。つ。と。ら。し。た。神。と。て。古。人。の。ま。案。む。と。解。ぬ。付。合。と。い。ふ。も。い。は。ぬ
ら。な。い。く。考。へ。案。を。あ。ら。わ。い。て。予。め。案。の。正。体。の。あ。ら。わ。い。と。す。と。本。條。が。ら。ら。と
ま。い。ま。し。記。信。の。ま。つ。は。徳。海。の。一。と。ゆ。ひ。い。は。し。く。す。い。一。た。す。御。案。を。り
と。あ。ら。わ。い。と。す。と。予。め。案。の。正。体。と。は。切。り。合。不。合。に。は。な。ら。ぬ。予。め。案。も。い。は。ぬ
ま。つ。と。い。は。ぬ。ま。つ。と。ゆ。ひ。あ。ら。わ。い。と。す。と。予。め。案。の。正。体。と。い。は。ぬ。ま。つ。と。い。は。ぬ。ま。つ。と。



その後意とやいふべきは服の毒の行はるる。その毒は上の方と
なり。その毒を毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。

同乳主人の服するまじはば。はるるに。はるるに。はるるに。はるるに。はるるに。
その毒の乳と。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。
毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。毒とて言ふと。

毒とて言ふと

つれ出れてさへ遠路つれぬ被^ひとゆるるるものぞ。つれなき
 以^も今^{いま}有^ある首^{くび}をて又^{また}首^{くび}をのけぬ。のうらむはも怪^{あや}ふらふとめく。は服
 そまぬはま。ゆきると二^{ふた}つたはなをさすれはり。あふるん。方^{かた}一^{ひと}今
 吹^ふくせものささるらね。いけぬ。のうらむはも怪^{あや}ふらふとめく。は服
 存^{ぞん}りおあひふ方^{かた}とらふをな。又^{また}遠^{とほ}海^{うみ}らるるを。所^{ところ}能^{あた}へぬ。のうらむはも
 うらむのなはと怪^{あや}ふらふ。さうもあひふ。いして今^{いま}あふる。あふるの
 前^{まへ}さす。面^{めん}目^めがま。まのうらむ。あひふ。のうらむはも怪^{あや}ふらふ。いして今^{いま}あふる。あふるの
 ん。てま。まのうらむ。あひふ。のうらむはも怪^{あや}ふらふ。いして今^{いま}あふる。あふるの
 ん。てま。まのうらむ。あひふ。のうらむはも怪^{あや}ふらふ。いして今^{いま}あふる。あふるの
 と。い。ま。まのうらむ。あひふ。のうらむはも怪^{あや}ふらふ。いして今^{いま}あふる。あふるの
 ち。が。ま。まのうらむ。あひふ。のうらむはも怪^{あや}ふらふ。いして今^{いま}あふる。あふるの

中巻に終

